

## フィジカルアセスメント特論

責任者・コーディネーター	分子細胞薬理学講座 弘瀬 雅教 教授、臨床医化学講座 那谷 耕司 教授		
担当講座・学科(分野)	分子細胞薬理学講座、臨床医化学講座、神経科学講座		
対象学年	5	区分・時間数	講義 15 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

いま、チーム医療において薬剤師は「薬の専門家」としてベッドサイドや在宅の場で、個々の患者さんの適正な薬物療法に貢献する事が求められています。また、医薬品の分野においても、薬物療法を中心とした治療の必要な疾患の増大や分子標的薬など革新的新薬の出現から、効果や副作用発現を適切にモニタリングしなければならない医薬品が増加してきており、「薬の専門家」としての薬剤師の更なる貢献が求められています。このような状況から、個々の患者さんに最適な薬物療法を実現する中で、薬剤師が特にリスクの高い薬剤を使用している患者さんの状態を把握する事は、副作用の防止あるいは副作用を早期に発見し重篤化を防止するという観点からも重要です。フィジカルアセスメント特論では、患者さんの状態把握の一つとしての脈拍、血圧などのバイタルサインの測定や触診、視診といった「フィジカルアセスメント」によって患者さんから直接情報を得る能力を身につける。

### ・一般目標（GIO）

フィジカルアセスメント特論では、薬物による生体反応を把握する技術（検査値の読み方を含む）とその理論および効果について学び、ベッドサイドを含む臨床の場において治療薬の有効性の予測や評価、副作用発現を防止する臨床能力習得するため、バイタルサインなどの生体反応を正確に把握できるフィジカルアセスメント技術の習得をめざす。具体的には、生体に現れる治療薬の有効性の評価と副作用症状について学び、種々の高性能生体シミュレータを用いて薬物の有効性と副作用を把握できる能力を修得させる。

### ・到達目標（SBO）

1. 視診・聴診・触診の基本がわかる。
2. 循環器、呼吸器、消化器、頭頸部、皮膚に関するフィジカルアセスメントを概説できる。
3. バイタルサインから副作用がわかる。
4. 種々のフィジカルアセスメントから副作用が説明できる。
5. ベッドサイドにある医療機器の使用法と見方がわかる。

### ・講義日程

(矢) 東 301 3-A 実習室、東 302 3-B 実習室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/17	水	1・2	分子細胞薬理学講座 臨床医化学講座 神経科学講座	弘瀬 雅教 教授 那谷 耕司 教授 大橋 一晶 准教授 鄒 鷗 特任講師	フィジカルアセスメントの序論、バイタルサインⅠ(体温、脈拍、血圧測定の目的と方法の習得)
4/19	金	1・2	分子細胞薬理学講座 臨床医化学講座 神経科学講座	弘瀬 雅教 教授 那谷 耕司 教授 大橋 一晶 准教授 鄒 鷗 特任講師	バイタルサインⅡ(呼吸、意識、尿量測定の目的と方法の習得)、循環器・呼吸器系の診察法と副作用評価

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/24	水	1・2	分子細胞薬理学講座 臨床医化学講座 神経科学講座	弘瀬 雅教 教授 那谷 耕司 教授 大橋 一晶 准教授 鄒 鷗 特任講師	消化器系の診察法と副作用評価、 頭頸部・顔面・皮膚の診察法と副作用 評価
4/26	金	1・2	分子細胞薬理学講座 臨床医化学講座 神経科学講座	弘瀬 雅教 教授 那谷 耕司 教授 大橋 一晶 准教授 鄒 鷗 特任講師	高性能生体シミュレータによる実習Ⅰ・Ⅱ
5/10	金	1・2	分子細胞薬理学講座 臨床医化学講座 神経科学講座	弘瀬 雅教 教授 那谷 耕司 教授 大橋 一晶 准教授 鄒 鷗 特任講師	高性能生体シミュレータによる実習Ⅲ、 医療機器の使用法と見方

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	聴診器		リットマン（セレクト）	
参	薬剤師がはじめるフィジカル アセスメント	河野 茂（監修）、濱田久之/ 佐々木均/北原隆志（編集）	南江堂 （定価 3,800 円）	2011
参	薬剤師のためのバイタルサイン	狭間 研至	南山堂（定価 4,800 円）	2010

・成績評価方法

出席状況，受講態度，レポート等から総合的に評価する。
----------------------------